

社会福祉法人 立葵会 タチアオイの教室 放課後等デイサービス 支援プログラム

営業時間	月～金曜日 学校終了後～17時30分 学校休業日 9時30分～17時30分	送迎の有無	有
法人理念	誰もが人格と個性を尊重し支え合う共生のまちをめざす		
支援方針	運動面や学習面、社会性など、集団療育の中でも子ども一人ひとりの特性に合わせた支援を取り入れています。活動を通していろいろな経験を積みながら、生活のスキルを学びます。自分で行うことで「できた」の喜びを味わいながら、自信や意欲に繋げていきます。		
支援内容			
本人支援	健康・生活	1日に2回～3回の検温の実施や食事量の確認など定期的な心身の健康観察を行いながら、健康管理を行います。食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援します。生活の中で様々な遊びを通じて、身だしなみや食事のマナー、整理整頓など日常生活に必要なスキルの習得できるよう支援します。	
	運動・感覚	レクリエーション活動を通して、上肢下肢の運動、力の強弱、バランス感覚、距離間、姿勢保持、指先トレーニングなど様々な運動・動作の向上を促します。視覚、聴覚、触覚、固有覚、前庭覚などの感覚を活用し、遊びを通じて感覚を養います。感覚や認知の特性を踏まえ、感覚の偏りに対する支援をします。	
	認知・行動	視覚、聴覚、触覚などの感覚を活用し、認知機能の発達を促します。数量、大小、色の習得、形、重さ、色の違いの習得のための支援をします。こだわりや偏食等に対する支援をします。感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防や適切な行動への支援をします。	
	言語・コミュニケーション	具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけることで言語の習得、自発的な発声を促します。言葉だけでなく、ジェスチャーや絵カードなど、子どもに合った手段を選択し、理解や意味の伝達が円滑にできるように支援します。障がいの特性に応じた読み書き能力の向上のための支援をします。終わりの会で活動の振り返りとして「気持ちを話す」、「聞く」の経験をすることで、自分の気持ちを伝える力、相手の話を聞く力を養います。	
	人間関係・社会性	遊びを通して人の動きを模倣することにより、社会性や、人間関係のはじまりを支援します。一人遊びから並行遊び、連合遊び、協同遊びを組み合わせ、徐々に社会性の発達を支援します。集団遊びを通して、ルールの理解や友だちとの適切な関わり方を学べるよう支援します。成功体験の共有や他者を褒める習慣から、自己肯定感を高め、互いの成長を喜び合う機会を提供します。	
地域支援・地域連携	連携機関で役割分担を行うと共にそれぞれの機関で得た情報を共有し、日常生活や支援に活用するための具体策を提案します。		
移行支援	地域の小学校や特別支援学校と日常的に連携を図り、日々の様子や支援方法の情報を共有します。		
家族支援	モニタリングや面談で個々の相談に応じます。保護者交流会を実施しています。		
職員の質の向上	月1回職員研修を実施しています。		
主な行事等	野菜の苗植え、すいか割り、水遊び、木工製作、調理体験、買い物体験、外出学習		